

ねんりんピック紀の国わかやま2019 監督日誌 (R1.11.11)

文責 静岡県選手団 監督 後藤 徹

秋田の再現 !! 嬉しさ倍増 !!

出発 (11月8日)

今回は三島、静岡、浜松駅からの乗車。新大阪で下車。大阪市と堺市に分宿。堺市の宿舎から大阪のホテルに移動し、出陣式に参加。余興では、ルンバとチャチャチャを披露し、大いに喝さいを浴びる。

開会式 (11月9日)

7時に和歌山市へ向かうが、紀三井寺運動公園まで道路状況が悪くて、渋滞し、選手集合時刻直前に到着。息つく暇なく、笑顔を絶やさず足並み揃えて堂々の行進。フィールドに腰を降ろして、式典は粛々と進む。子供たちのアトラクションを楽しんだ後、那智勝浦町へと輸送バスは出発。途中までは高速道路利用で快適であったが、その後は海岸沿いのカーブつづきの道が延々と続く。有名な橋杭岩を過ぎてほどなく到着。3時間の移動は初めてである。直ちに体育館での練習に臨み、「かつうら御苑」に着いたのが午後7時。ビュッフェ夕食、入浴を済ませて、早々就寝。

大会当日 (11月10日)

本来選手バスの予定は無かったが、勝浦町の粋な計らいでバス移動が成された。更衣場所も広いし、のびのび着替えができる。本県席は本部席の真正面。スクリーンもよく見える位置であった。開始式上、静岡市の佐藤氏、春川氏が高齢者表彰を受ける。

ラテン予選から競技開始。2面使用で審査員が5名づつの豪華さ。チャチャチャでは杉山・杉山組が順当に勝ち進み、堂々の優勝。ルンバでも準優勝。他の組も3次、4次まで進む

スタンダードに入ると、場馴れしたエース級が出場し、一味違う踊りを見せつけられた。タンゴでは上総・伊奈組が初の6位入賞に輝いた。

団体戦は48チームの戦い。会場が狭いので応援合戦も湧きに沸く。心配をよそに準決勝を踊り、あとは祈る気持ちのみ。見事決勝進出。最期の1曲を気持ちよく踊りきり運命の結果発表。6位からの発表を聞いてから3番目。「静岡県」のコール。4位に全員欣喜雀躍であった。

夕食が遅くなったが、大いに飲み、語り、美酒に酔いしれる夜になった。再来年のねんりん神奈川には、是非このメンバーでワンチームとして臨みたいと強く思う。